



バングラデシュ人民共和国

バングラデシュの教育制度(1)

- 面積:14万7千平方キロメートル(日本の約4割、バングラデシュ政府)
- 人口:1億6,630万人(世界銀行, 2021年)
- 民族:ベンガル人(大部分を占める)、チャクマ族等
- 言語:ベンガル語(国語)
- 宗教:イスラム教徒88.4%、その他(ヒンズー教徒、仏教徒、キリスト教徒)11.6%(バングラデシュ統計局, 2020年)
- 平均寿命:男性72歳、女性75歳(世界保健機関, 2019)
- 成人識字率:75.6%(バングラデシュ統計局, 2020年)

バングラデシュにつながる本邦在留者は、在留期限がない永住者(19%)、外国籍者の扶養を受ける配偶者または子どもが取得できる「家族滞在」(20%)が全体の39%を占める(総務省統計局, 2022年6月)。

学校体系と取得可能な資格・学位

- バングラデシュでは、2010年国家教育政策により、初等教育期間、義務教育期間の延長が決定済みであるが、現在も、1990年義務初等教育法で規定された初等教育5年間で義務教育である(UIS, 2023年)。初等教育期間・義務教育期間の延長の時期は未定とされている(JICA, 2017年)。
- 2021年の総就学率は、初等教育115.95%、前期中等教育87.67%である(UIS, 2023年)。

幼児学級、幼稚園

義務教育

初等学校
(小学校)

1年生 (6~7歳)
2年生 (7~8歳)
3年生 (8~9歳)
4年生 (9~10歳)
5年生 (10~11歳)

前期中等学校(6~8年生)

中期中等学校(9~10年生)

後期中等学校(11~12年生)

大学、カレッジ等

バングラデシュでは、左の普通教育課程以外、技術教育課程、マドラサ教育課程(宗教教育課程)が存在する。

- ★初等教育修了証
- ★前期中等教育修了証
- ★中期中等教育修了証
- ★後期中等教育修了証
- ★学士 ★修士 ★博士

就学手続き・学校区域指定の有無

- 原則として保護者が子どもに初等教育を受けさせる義務を負う。就学すべき学校は指定されていないが、最寄りの学校に就学することが多い。
- 公立学校と一部の私立学校の就学手続きは電子化されている。就学手続きの開始には、保護者がオンラインプラットフォーム上に自身の身分証明書の写しと連絡先、子どもの証明写真と出生証明書などを登録する。

学校教育費

- バングラデシュの公立初等教育は無償である。
- 初等学校4、5年生の児童を持つ家庭を対象とした2013年調査によれば、子ども一人の平均年間教育費は4,788タカ(約6,000円)であり、そのうち個別指導のための費用が約54%、文房具約27%、衣装約11%、教科書約9%を占めた(初等大衆教育省, 2013年)。
- 初等教育以外には有償である。公立中等学校の学費は、2013年資料では800タカ(約1,000円)(Mushfique, 2013年)、公立以外の中等学校のうち、教員給与補助金制度(右参照)認定校の学費は、農村部の学校で年間1,000~5,000タカ(約1,000~6,000円)、都市部では5,000~50,000タカ(約6,000~65,000円)であった(JICA, 2017年)。

教員給与補助金制度は、認定を受けた公立以外の中等学校の教員給与のうち、金額を政府が一定の金額を負担する制度である。非認定校は教員給与を自主財源で確保するため、学費はより高額となり、地方でも年間50,000タカ(約64,000円)以上に達する学校もある(JICA, 2017年)。

進学要件

- 前期中等学校:校内で実施される試験に合格(修了証取得)なお、2019年以前は、9つの教育管区ごとに設置されている教育委員会(Education Boards)が、初等教育修了認定試験を実施していた。2020年~2022年の試験はコロナ禍における暫定措置として中止され、さらに、2023年より導入される新カリキュラム(次項を参照)では試験が実施されない前提であることから、2023年以降、試験は廃止され、初等教育修了証は各校が実施する試験の合格者に付与されることになった。
- 中期中等学校:前期中等教育修了認定試験合格(修了証取得)
- 後期中等学校:中期中等教育修了認定試験合格(修了証取得)
- 大学、カレッジ:後期中等教育修了認定試験合格(修了証取得)、もしくは職業教育課程の修了者に付与される専門ディプロマ

自宅の最寄りの学校以外の後期中等学校への進学と高等教育機関への進学には、修了認定試験において優秀な成績を収める必要がある。さらに、大学進学の場合、大学が実施する入学試験に合格する必要がある。

バングラデシュの教育制度(2)

障害のある子どもの就学

※「特別支援教育」や「特別教室」の定義は、国により様々である。

2001年障害者福祉法や2013年障害者権利保護法が公布されているが、予算不足や施設・機材の不足、特別な訓練を受けた教員の不足、インクルージョンに関する政策の不足等から、教育機会が十分に提供されていない(UNICEF, 2014年)。

● 就学手続き

2013年障害者権利保護法により、受入れ人数超過の場合を除き、教育機関は障害を理由に障害のある子どもの就学を拒否できない(BRAC, 2018年)。就学手続きは、学校ごとに異なる。

● 政府が提供する障害のある子どもの教育

〈統合教育(Integrated Education)〉

視覚障害児のための統合教育プログラム(Integrated Education Programme for the Visually Impaired)
社会保障省の管轄下のプログラムで通常学校で実施される。

〈特別教育(Special Education) ※ 日本の特別支援教育に相当〉

視覚障害児のための特別学校(Special School for the Visually Impaired)
視覚障害のある子どものための教育施設。宿泊施設を備える。

聴覚障害児のための学校(School for the Hearing Impaired)
聴覚障害のある子どものための教育施設。宿泊施設を備える。

知的障害児のための施設(Institute for the Mentally Retarded Children)
知的障害のある、6~12歳の子どものための教育施設。宿泊施設を備える。

国立特別教育センター(National Center for Special Education)

ダッカにあるセンターで、聴覚障害、視覚障害、知的障害、自閉症のある子どもに教育を提供する。

💡 指導上の留意点

- バングラデシュでは、法令や制度は整備されているが、実施に課題がある場合があるため、法令・制度に則り判断するのではなく、個々のケースを聞き取り、対応を検討する必要がある。
- 比較的新しい概念である、自閉症やADHDなどを含む「発達障害」について、保護者は十分理解していない、または障害と認識していない場合がある。
- 来日前の教育の状況、家庭環境や成育歴、母語の発達の状況などが子どもの発達に影響を及ぼしていることに留意が必要である。

💡 障害のある子どもへの教育において、NGOも重要な役割を果たしている。例えば、BRACは、3.5万校以上の学校を直接運営している(CAMPE, 2011年)。

バングラデシュの教育内容(1)

- 2010年国家教育政策(National Education Policy 2010)に則った教育改革が進行中であり、2023年からは段階的に新カリキュラムが導入されることになっている。新カリキュラムでは、小学校3年生までの試験が廃止され、グループワークや発表の時間を増加させるなど、従来の暗記型の学習から体験に基づく学習へと転換が図られている。
- 学習言語はベンガル語である。

教科(小学校)

- ベンガル語、算数、英語、理科、社会、宗教道徳、体育、図工、音楽
- 1年生から5年生まで同じ教科を学び、理科と社会以外は授業時間数も同じである(右表参照)。

💡 5年生を対象とした全国学力調査において、5年生までに獲得すべき学力の水準に到達した児童の割合は、算数で10%、ベンガル語で23%(2015年)に留まった。そのため、学力の向上が喫緊の課題とされている。

評価・進級制度

- 通知表には各教科の成績、出席状況、学習態度が記載されている。
- 成績と出席状況次第では、小学校でも進級できないことがある。

1年生と5年生の科目別年間授業数(2011年の資料)

	1年生	5年生
ベンガル語	185	185
算数	185	185
英語	185	185
理科	60	120
社会	60	120
宗教道徳	60	60
体育	30	30
図工	30	30
音楽	30	30
合計	825	945

💡 2021年の初等教育の退学率は14.15%(初等大衆教育省, 2021)。

修了率(※): 初等教育83%、前期中等教育65%、後期中等教育29%(2019年)
(※)各教育段階の最終学年該当年齢より3~5歳年齢が高い子どものうち、最終学年を修了した子どもの数の割合(データは、UNICEF, 2022年)。

バングラデシュの教育内容(2):算数カリキュラム

初等教育の算数学習内容系統一覧表(日本の学習領域に則り整理)

領域/学年	1年	2年	3年	4年	5年
数と計算	●100までの数	●1000までの数 ●奇数と偶数 ●10までの序数	●10万までの数 ●20までの序数	●1000万までの数 ●素数と合成数 ●倍数と約数	●最小公倍数と最大公約数
	●1、2位数の加法・減法	●2、3位数の加法・減法の筆算 ●乗法の意味 ●九九(1~10の段) ●乗法(2位数)×(1位数)	●4、5位数の加法・減法 ●九九(11~15の段) ●乗法(3位数)×(2位数) ●除法の意味 ●九九を用いた除法の計算 ●余りのある除法	●6位数の加法・減法 ●乗法(3、4位数)×(3位数) ●除法(3、4位数)÷(1、2位数) ●四則を混合した式の計算	●除法(4、5位数)÷(3位数) ●()を用いた式の計算
図形	●身の周りの平面図形の観察	●三角形、四角形、円	●点、線、面、平面、曲面 ●鈍角、直角、鈍角 ●四角形の作図	●角の作図、大きさ ●垂直と平行 ●長方形と正方形 ●正三角形と二等辺三角形 ●鋭角三角形、直角三角形、鈍角三角形	●台形、平行四辺形、ひし形 ●円 ●様々な立体図形とその分類
	●測定の比較表現(大きい・小さい、多い・少ない、高い・低い、速い・近い、重い・軽い、等)	●長さの比較(直接比較、間接比較) ●長さの単位(m, cm) ●重さの単位(kg, g) ●かさの単位(L)	●長さの単位(mm, km)	●長さ、重さの加法・減法 ●面積の概念と単位 ●長方形と正方形の面積の公式	●長さ、重さ、かさの四則計算 ●三角形の面積の公式
測定/変化と関係		●時計の読み方(時、分、秒) ●カレンダー(日、週、月、年)	●時刻に関する問題	●時間の単位の変換 ●時間の加法・減法	●12時制と24時制、時間の計算 ●ベンガル歴と西暦
					●百分率(%)の概念 ●百分率の計算
データの活用		●表	●絵グラフ	●棒グラフ	●折れ線グラフ、円グラフ ●平均値の計算



数と計算領域を指導する際の留意点

●各学年で学習する整数

バングラデシュの各学年で学習する整数は、日本よりも小さい。例えば、日本の3年生は1億まで学習するのにに対し、バングラデシュの3年生は10万までしか学習しない。そのため、整数の学習の前に追加的な指導が必要である。例えば、3年生までバングラデシュで学習し、4年生から日本で学習する子どもには、整数の学習の前に100万~1億までの数を指導する必要がある。

●分数の学習時期

日本では基本的な分数の意味(分割分数)を2年生で学習するが、バングラデシュでは3年生から分数を学習する。3年生から日本で学習するバングラデシュの子どもには、分数の学習の前に分数の意味の指導が必要である。

●小数の学習時期

日本では3年生から小数を学習するが、バングラデシュでは4年生からである。4年生から日本で学習する子どもには、小数の意味や読み方、簡単なたし算・ひき算などの指導が必要である。

バングラデシュの学校文化

1年間の学校行事

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1学期

2学期

新学期

夏休み
(2週間)

冬休み
(10日間)

- ・学期末と年度末に試験がある。
- ・スポーツ大会や文化祭のような行事も開催される。

※ 以前は3学期制であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に変更された。今後、改めて変更される可能性もある。

1日の流れ

- 授業は月曜日から金曜日までであり、土・日・祝日は休みである。
- 90%の公立校が午前・午後の二部制である。
一般的に、午前クラスは1～2年生、午後クラスは3～5年生が対象である。

小学校の例

9:00 午前の授業開始

9:00～9:15 学級会
9:15～12:00 授業(4コマ)

12:00 午前の授業終了
午後の授業開始

12:00～12:15 学級会
12:15～13:40 授業(2コマ)
13:40～14:00 昼休み
14:00～16:00 授業(3コマ)

16:00 午後の授業終了

日本の登校班のように、近隣の子どもがグループになり、歩いて登校する。

授業の1単位時間は40分である。
授業の間に休み時間はない。

給食はない。
午後のシフトの場合、児童は昼休みに持参した弁当を食べる。
栄養補助食品が学校から支給される場合もある。

宿題は毎日出される。
夏休みなどの長期休みにも宿題がある。

学校のルール・習慣

- 学校によって規則は異なる。髪型についての規則がある学校もある。
- 化粧やアクセサリーをしておの登校、学校への携帯電話の持ち込みは禁止されている。お菓子は持参してもよい。
- 児童が教員と一緒に教室の掃除をする。

学校生活に必要なもの

- 中期中等学校(10年生)まで、教科書は無償である。
- 制服や文房具は保護者が購入する必要がある。

勉強以外の活動

- 博物館や歴史的な場所への校外学習がある。また、遠足等の行事もある。

保護者の関わり

- 多くの小学校で日本と同じような連絡帳が使用されている。児童は次の日の時間割や持ち物、宿題を連絡帳に記載する。保護者は体調や気になることなどを連絡帳を通して担任に伝える。
- バングラデシュでは、子どもの成績や学習態度が良くない場合、教員が家庭訪問を行うことが多い。
- 年に数回、日本の保護者会のような「保護者の日」がある。
- 授業参観はない。
- 子どもが宿題を終わらせるよう、家庭で確認することが推奨されている。



指導上の留意点

- バングラデシュではお菓子を学校に持参し、休み時間に食べることが許されているが、日本では原則許されていないことを、保護者や児童生徒に説明が必要な場合がある。

参考文献

- 外務省(日本). バングラデシュ人民共和国(People's Republic of Bangladesh)基礎データ. (オンライン) 2022年12月23日. (引用日: 2023年1月26日.) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/bangladesh/data.html>.
- World Health Organization (WHO). Bangladesh. The Global Health Observatory. (オンライン) 2019年. (引用日: 2023年1月26日.) <https://www.who.int/countries/bgd/>.

(学校制度)

- 総務省統計局. e-Stat 政府統計の総合窓口. 在留外国人統計(旧登録外国人統計). (オンライン) 2022年6月. (引用日: 2023年1月13日.) <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00250012&tstat=000001018034>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). バングラデシュ国教育プログラム準備調査 準備調査報告書. (オンライン) 2017年3月. (引用日: 2023年1月10日.) <https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000030629.html>.
- 文部科学省(日本). バングラデシュ人民共和国. 世界の学校体系(ウェブサイト版). (オンライン) 2017年10月. (引用日: 2023年1月27日.) https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396848_012.pdf.
- Bangladesh Bureau of Statistics. National Survey on Persons with Disabilities (NSPD) 2021 Preliminary Report. (オンライン) 2022年. (引用日: 2022年1月27日.) https://bbs.portal.gov.bd/sites/default/files/files/bbs.portal.gov.bd/page/b343a8b4_956b_45ca_872f_4cf9b2f1a6e0/2022-06-13-15-24-ca6f018ab83c88a4db8ff51386439794.pdf.
- BRAC. Study on the Rights and Protection of the Persons with Disabilities Act 2013. (オンライン) 2018年. (引用日: 2023年1月27日.) http://www.brac.net/program/wp-content/uploads/reports/Final%20Report_CPJ_ASC_Disability%205th%20August%202018.pdf.
- Campaign for Popular Education (CAMPE). The status of un-served children in education Children with Disability in Bangladesh. (オンライン) 2011年. (引用日: 2023年1月27日.) https://www.campebd.org/Files/16032014020857pmChildren_with_Disability_in_Bangladesh.pdf.
- Directorate of Primary Education (Bangladesh). Primary Education Stipends - A Qualitative Assessment. (オンライン) 2013年. (引用日: 2023年1月27日.) https://reliefweb.int/attachments/43d5957b-ff43-31b8-a62a-8827f03e2fbe/Bangladesh_Primary_Education_Stipends_survey.pdf.
- Jahangir Hossain. Special Education in Bangladesh: Present Trend and Future Needs. (オンライン) 2008年. (引用日: 2023年1月27日.) http://www.nise.go.jp/kenshuka/josa/kankobutsu/pub_d/d-279/d-279_10.pdf.
- JSC, JDC exams scrapped permanently. Dhaka Tribune. (オンライン) 2023年1月16日. (引用日: 2023年1月27日.) <https://www.dhakatribune.com/bangladesh/2023/01/16/jsc-jdc-exams-scrapped-permanently>.
- Khan Rahman Mostagousur. Integration of Special Education With National Education System: Bangladesh Perspective. National Defence College (NDC) E Journal. (オンライン) 2019年. (引用日: 2023年1月27日.) <https://ndcjjournal.ndc.gov.bd/ndcj/index.php/ndcj/article/view/262/237>.
- Ministry of Education (Bangladesh). National Education Policy 2010. (オンライン) 2010年. (引用日: 2023年3月7日.) https://planipolis.iiep.unesco.org/sites/default/files/ressources/bangladesh_national_education_policy_2010.pdf.
- Mushfique Wadud. No new public high school in Dhaka in 42 years. Dhaka Tribune. (オンライン) 2013年5月31日. (引用日: 2023年3月7日.) <https://archive.dhakatribune.com/uncategorized/2013/05/31/no-new-public-high-school-in-dhaka-in-42-years>.
- Persons With Disabilities Rights and Protection Act (Act No. 39 of 2013). (オンライン) 2013年. (引用日: 2023年1月27日.) http://bdcode.gov.bd/upload/bdcodeact/2020-11-20-11-20-25-357_Law_No_39_of_2013.pdf.
- Primary Education (Compulsory) Act (Act No. 27 of 1990). (オンライン) 1990年. (引用日: 2023年1月27日.) https://planipolis.iiep.unesco.org/sites/default/files/ressources/bangladesh_primary_education_compulsory_act_1990.pdf.

(学校制度 続き)

- Secondary school admission process begins, online applications open. The Financial Express. (オンライン) 2022年11月17日. (引用日: 2023年1月27日.) <https://thefinancialexpress.com.bd/education/secondary-school-admission-process-begins-online-applications-open-1668591362>.
- UNESCO Institute for Statistics (UIS). Bangladesh. Data for the Sustainable Development Goals. (オンライン) (引用日: 2023年3月3日.) <https://uis.unesco.org/en/country/bd>.
- UNESCO. World Data on Education - Bangladesh. (オンライン) 2011年. (引用日: 2023年1月27日.) http://www.ibe.unesco.org/fileadmin/user_upload/Publications/WDE/2010/pdf-versions/Bangladesh.pdf.
- UNICEF. Disability-Inclusive Education Practices in Bangladesh. (オンライン) 2021年. (引用日: 2023年1月27日.) <https://www.unicef.org/rosa/media/16986/file/Country%20Profile%20-%20Bangladesh.pdf>.
- UNICEF Bangladesh. Situation Analysis on Children with Disabilities in Bangladesh. (オンライン) 2014年6月. (引用日: 2023年2月21日.) <https://www.unicef.org/bangladesh/media/2046/file/SA-disability%20report.pdf>.

(教育内容・学校文化)

- 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン. バングラデシュの教育を丁寧に解説【制度や現状、問題点まで】. (オンライン) (引用日: 2023年1月16日.) https://www.worldvision.jp/children/education_14.html#d0e9d87eb78fa54e47cd213ca7606442.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). 教育の質の向上プログラム 第四次初等教育開発計画(2020年)事業事前評価表. (オンライン) (引用日: 2023年2月22日.) <https://www.jica.go.jp/bangladesh/office/activities/program/05/index.html>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). バングラデシュ国教育プログラム準備調査 準備調査報告書. (オンライン) 2017年3月. (引用日: 2023年1月10日.) <https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000030629.html>.
- bdnews24.com. A new curriculum brings cheers and challenges to Bangladesh's education. (オンライン) 2022年9月16日. (引用日: 2023年3月6日.) <https://bdnews24.com/education/osprtvsw8z#:~:text=The%20new%20curriculum%20aims%20to,according%20to%20the%20education%20ministry>.
- Ministry of Primary and Mass Education. Bangladesh Primary Education Statistics-2021. (オンライン) (引用日: 2023年1月16日.) https://dpe.portal.gov.bd/sites/default/files/files/dpe.portal.gov.bd/publications/46bf0aab_aa24_4515_8d69_bd6e30b0f120/APSC-2021%20Report_31032022.pdf.
- Stefan Trines. Education in Bangladesh. World Education News & Reviews (WENR) のWebサイト. (オンライン) 2019年8月1日. (引用日: 2023年1月16日.) <https://wenr.wes.org/2019/08/education-in-bangladesh>.
- UNICEF Data. UNICEF Global database on completion rate.(オンライン) 2022年5月(引用日:2023年3月16日.) <https://data.unicef.org/topic/education/primary-education/>

(算数カリキュラム)

- National Curriculum & Textbook Board, Bangladesh. National Curriculum - 2021 (Grade 1-5) Subject: Mathematics.

ヒアリングおよび質問紙調査

- バングラデシュ公立小学校(Balram Government Primary School)校長へのヒアリングおよび質問紙回答.(2023年2月15日.)

※ 為替レート: 2023年3月JICAレートにて換算(BDT1=1.2901400円), 百の位で四捨五入(500円以下の場合には十の位で四捨五入).